

【近世日本風俗繪本集成】

(いずれも残部僅少)

歌川豊国画／享和2年刊

繪^え本^{ほん}時^{いま}世^{よう}粧^{すがた}

■ 217×155 mm・極彩色

全2冊 本体30,000円＋税

初代歌川豊国の代表作。江戸後期の女性風俗を官女から遊里の情景や女性まで美麗で柔らかな味わいのある彩色摺で描き出す。各巻変化と照応を図った構成は、うねりのある流れを感じさせ、さながら風俗絵巻を繰り広げる思いを抱かせる。各図に名標が削除されずに在している稀刷の初摺本を底本に使用。

ISBN978-4-653-00403-5 [79/3]

西川祐信画／元文4年刊

繪^え本^{ほん}浅^{あさ}香^か山^{やま}

■ 270×179 mm

全1冊 本体4,700円＋税

西川祐信は墨摺りの限界の中で、女性の衣裳美の描出に無類の技術を発揮する。『絵本浅香山』では、上方の中流女性たちの歩み、振り向き、舞う、なよやかな姿と共に、着衣の柔かさと同様の豪華さを遺憾なく描きとめた。早い時期の代表的逸品。初版12丁本を基に、増補された4丁分を別に掲出する。

ISBN978-4-653-00404-2 [79/4]

鳥居清信画／元禄14年刊

風^{ふう}流^{りゆう}四^し方^{ほう}屏^{びよう}風^ぶ

■ 268×198 mm

全2冊 本体9,500円＋税

役者絵に独自の位置を占める鳥居派を確立した清信の代表作。市川団十郎はじめ元禄中期の名優の舞台姿を半丁に一人ずつ、俳優名に定紋を添えて描く墨摺絵本。鳥居派の特徴の瓢箪足・蚯蚓描を随所に用い、発達期に向かう歌舞伎の力強さをよく表現する。現在2本しか知られていない稀本。板木屋七郎兵衛版より複製。

ISBN978-4-653-00406-6 [79/6]

西川祐信画／享保15年刊

繪^え本^{ほん}常^{とき}盤^わ草^{ぐさ}

■ 272×185 mm

全3冊 本体15,000円＋税

毛利田庄太郎版行の祐信豪華本三点の第一作。多様な改竄本が流布しているが、複製は初版による。全体として高貴より中流、そして三都の遊女へと移る女性風俗図となっている。特に群像の処理に巧みで、人物が躍動し環境描出も優れる。各巻末に付された画法指南の短文には祐信の絵画観がうかがわれる。

ISBN978-4-653-00408-0 [79/9]

葛飾北斎画／享和4年刊

繪^え本^{ほん}山^{やま}満^ま多^た山^{やま}

■ 263×174 mm・極彩色

全3冊 本体33,000円＋税

江戸山の手景勝地を選び、各丁北斎の彩色摺の絵とその地にちなむ狂歌を添える。遠近と布置の照応に工夫した構図は変化に富んだ展開を示し、晩年とは異なる優婉な趣に北斎の前期芸術の一点点を示している。葛屋重三郎版の初版初摺本を底本に、特に北斎描くところの山姥と金太郎の彩色摺の袋も添付する。

ISBN978-4-653-00409-7 [79/9]

翠釜亭画／天明2年刊

翠^{すい}釜^ふ亭^{てい}戲^ぎ畫^が譜^ふ

■ 262×160 mm・淡彩色

全1冊 本体25,000円＋税

上方役者絵の逸品。様々な歌舞伎狂言から役をとり、役者のあらゆる表情を雅味ある滑稽感に包んで的確に表現する。役者の配列は入念で、適宜役を散らし、あるいは同一芝居の中での役を左右の頁に並べるなど工夫がある。さらに各頁余白には朱印で俳名を押す。唐紙本と和紙本のうち、原初型の唐紙本が底本。

ISBN978-4-653-00416-5 [81/1]

鈴木春信画／明和7年刊

せい ろう び じん あわせ
青 樓 美 人 合

■ 270×180 mm ・ 極彩色

全5冊 本体90,000円＋税

吉原の遊女166人を選び、美人合わせの形態をとった春信絵本の代表作。全体を俳諧の5箇の景物、すなわち桜・子規・月・紅葉・雪の五部立ての冊に分ち、所収の遊女自作の句を画像上に配する。遊女の姿態・動作・調度等にも趣向を凝らし構図の変化を図り、錦絵同様の美麗な多色摺と相俟ってみごとな仕上がりを見せる。

ISBN978-4-653-00720-3 [81/11]

近代文学 (文芸雑誌・婦人雑誌等)

森鷗外主宰／長谷川 泉解説

志がらみ草紙 自創刊号(明治22年)
至59号(同27年)終刊

[臨川書店近代文芸雑誌複製叢書 第20次]

■ 菊判原裝復元・2帙・総2968頁・別冊(解説・総目次・執筆者名索引)

全59冊 本体86,000円＋税

明治22年から同27年にかけて刊行された、森鷗外主宰の文学評論雑誌。評論が主体であったが、そのほかにも西欧文学の浪漫的香気を伝える翻訳や小説、創作、詩歌、演劇関係の論文等も誌面を飾った。発刊時の原裝を忠実に復元し、別冊で解説、総目次、執筆者名索引を付す。

ISBN978-4-653-03011-9 [95/7]

広津柳浪・須永金三郎編

やまと錦 自創刊号(明治21年)
至第13号(同22年)終刊

[臨川書店近代文芸雑誌複製叢書 第22次]

■ B6判変型・原裝復元・2帙・全13冊・別冊解説(岡保生)・総目次

全13冊 本体74,000円＋税

広津柳浪・須永金三郎を編集人に迎え、東京・博文館より発行された文芸雑誌。柳浪や嵯峨のやおむろの言文一致体小説をはじめとする創作や、ツルゲーネフ等海外作品の翻訳、詩歌などを掲載し、多くの読者を魅了した。明治20年代はじめの文壇を知る貴重な資料でありながら、残存数の極めて希少な同誌を忠実に複製する。

ISBN978-4-653-03482-7 [98/2]

与謝野寛主幹／吉田精一解説

明星 自創刊号(明治33年)
至100号(同41年)終刊

[臨川書店近代文芸雑誌複製叢書 第1次]

■ 四六倍判(1～5号新聞版)全巻原寸大・10帙・別冊解説14頁

全100冊 本体750,000円＋税

与謝野鉄幹を主幹とする東京新詩社の機関誌で、明治浪漫主義文学運動の中核となった詩歌雑誌。短歌の革新をはかり、晶子の「みだれ髪」が代表する「明星調歌風」を生み出すと共に、高村光太郎、北原白秋等近代日本歌史を飾る多くの俊才を輩出。明治ルネッサンスに君臨した文芸誌の最高峰である。華麗な原裝と多彩な挿入画を附す。

ISBN978-4-653-00271-0 [64/8～79/11]

与謝野寛主幹／吉田精一解説

第二次 明星 自創刊号(大正10年)
至10巻2号(昭和2年)終刊

[臨川書店近代文芸雑誌複製叢書 第15次]

■ B5判変型全巻原寸大・6帙・別冊解説18頁・総目次44頁

全48冊 本体270,000円＋税

「スバル」廃刊後、与謝野寛・晶子を中心とし、文壇の重鎮鷗外を顧問格に迎え、新進気鋭の「スバル」派をも編入して大正10年「明星」という同名で復活したもの。当時の芸術全般を扱った総合誌として、広く文芸作品を掲載すると共に、多くの西欧絵画を紹介して近代的思索と鑑賞の世界を広げた。

ISBN978-4-653-00347-2 [80/7]